

絵日記を描こう！ NO.2



・絵日記を活用できていますか？

だんだん絵日記に慣れてきたら、一場面の絵日記から場面を増やし、より多くの内容を楽しく上手に扱っていきたいですね。親御さんが一人で描いてしまうのではなく、できるだけ一緒にお話しをしながら描く方が良いでしょう。質問をしたり：「何色だった？」、絵を描かせたり：「お日様描く？〇って描くよ」してお子さんが参加しやすい工夫をしてましょ。う。「きれいで丁寧な絵日記」＝「良い絵日記」というわけではありません！

では、どのように場面を増やせばいいのでしょうか？ どんな話しかけをすればいいのでしょうか？

その 1: どんなことに興味を持ったの？

起きた出来事を全て描けば良いという訳ではありません。「印象に残っているだろうな」「楽しかっただろうな」あるいは「びっくりしただろうな」ということ等を扱うことで、楽しく絵日記に取り組み、そこから言葉を広げることができます。

例：お散歩に行きました。

<印象に残っていること>

1. お気に入りの帽子をかぶったこと
2. ちょうちょが飛んできたこと
3. 葉っぱを拾ったこと（大きい葉っぱと小さい葉っぱを見つけたこと）

→これで既に 3 場面です！ さらに「転んだこと」などを描けば 4 場面に！

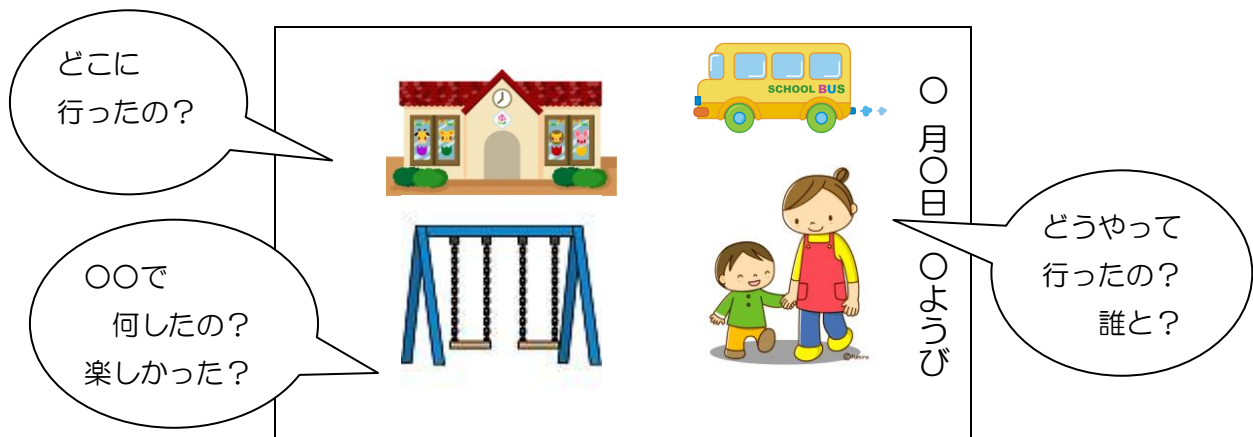


その2: 5W1H（誰？どこ？何？どうやって？どうして？）を投げかける

まだ難しい質問でも絵日記では楽しくやりとりをしながら質問を投げかけることができます。

例：「（今日は）どこに行ったの？」「誰と行ったの？」「どうやって行ったの？」

「何したの？」お子さんが答えられなくても親御さんが代弁し、「〇〇だったよね～」と絵を描きながら 5W1H を聞きなれていくことが大切です。



その3: 一つの事柄の中で流れを話す

流れを話すことで、「それから」「次は」「でも」「だから」なども自然に聞かせていくことができます。また、気持ちを言葉にしていけることもできますね！

例：りんごを買いに行ったよ → でも売ってなかったよ（残念…） → だからバナナを買ったよ（やったー） → それからお家に帰ってバナナを食べたよ → （どうだった？）おいしかったよ（また食べたいなあ…）

